

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●秋華賞はスタンングローズが優勝

10月16日(日)に行われた秋華賞(G I)では、スタンングローズ(牝3歳/栗東・高野友和厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。鞍上の坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)にとってもJRAのG Iは初制覇です。桜花賞と優勝牝馬(オークス)を制し、史上7頭目となる“牝馬三冠馬”を狙ったスターズオンアースは3着でした。

●福永祐一騎手がJRA通算2600勝を達成

10月16日(日)の4回阪神5日・第1レースではゴッドセンドが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、史上4人目、現役では3人目となるJRA通算2600勝(1万9252戦目)を達成しました。なお、デビューから26年7か月15日・45歳10か月8日での2600勝達成となり、これは武豊騎手のデビューから18年4か月17日・36歳4か月3日に次ぐ史上2番目の記録となります。

●石橋脩騎手がJRA通算800勝を達成

10月16日(日)の4回東京5日・第12レースとして行われた鷹巣山特別ではジャスティンスカイが1着となり、同馬に騎乗した石橋脩騎手(美浦・フリー)は、史上57人目、現役では30人目となるJRA通算800勝(1万1921戦目)を達成しました。

●和田竜二騎手がJRA通算2万回騎乗を達成

10月16日(日)の4回阪神5日・第3レースでサンライズサラーに騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上7人目、現役では6人目となるJRA通算2万回騎乗を達成しました。

●北村宏司騎手がJRA通算1万6000回騎乗を達成

10月16日(日)の4回東京5日・第12レースとして行われた鷹巣山特別でサマルウインドに騎乗した北村宏司騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上13人目、現役では10人目となるJRA通算1万6000回騎乗を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JRAのマルカラビッドがエーデルワイス賞(門別)で重賞初制覇

エーデルワイス賞(Jpn III、2歳牝馬、10月20日、門別、1200m)は、6番手を進んだ4番人気のマルカラビッド(小沢大仁騎手、父マインドユアビスケッツ)が残り50mを切った辺りで差し切り、2馬身半差で完勝。3番人気のエコロアイが2着、2番人気のトモジャミは3着、ニーナブランドは8着、単勝1.9倍で1番人気のスティールグレイス(北海道)は、3コーナー過ぎに左前肢第3中手骨折のため競走を中止しました。

●ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンド浦和の結果

2022ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンド浦和は10月19日に行われ、第1戦は七夕裕次郎騎手(浦和)、第2戦は及川烈騎手(浦和)が制しています。

●金沢プリンセスCは無敗ショウガタツプリ【各地の主要2歳重賞】

金沢プリンセスC(9月19日、金沢、1400m、牝馬)は、序盤中団から向正面半ばで早々と先頭に立ったショウガタツプリ(父エスポワールシチー)が3馬身差で楽勝、単勝1.3倍の支持に応えました。今年に限って芝で実施予定も、走路状態悪化のためダート変更となった若駒賞(9月20日、盛岡、1600m)は、6番手から差を詰めた単勝1.5倍で断然人気のケープライト(牝、父ジャスタウェイ)がゴール前で差し切り勝ち。リリーC(9月21日、門別、1200m、牝馬)は、中団から追上げた単勝1.6倍で1番人気のスティールグレイス(父ハタノヴァンクール)が直線半ばで抜け出し、フローラルCに続く重賞2連勝を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英チャンピオンS～引退戦のバーイードは4着

現地10月15日にイギリスのアスコット競馬場で行われたG 1英チャンピオンS(3歳上、芝1990m)は、3番手で流れに乗ったベイブリッジ(牡4歳、父ニューベイ)が昨年の英ダービー馬アダイヤーとの競り合いを半馬身差で制して優勝。デビューから10連勝、G 1・6連勝で臨んだバーイードは渋った馬場が影響したか(勝ちタイムは2分9秒46)、直線で伸びず4着。引退レースを勝利で飾ることはできませんでした。勝ったベイブリッジは今年5月のG 3ブリガディアジェラードS(芝1990m)で重賞初制覇。その後は6月のG 1プリンスオブウェールズSが2着、続く前走7月のG 1エクリプスSも5着でしたが、3度目のG 1挑戦でビッグタイトルを手に入れました。鞍上のR.キングスコート騎手はこのレース初制覇。管理するM.スタウト調教師は3勝目です。

●ジエベレスト～ギガキックがデビュー5連勝

芝レースとしては世界最高の総賞金(1500万豪ドル=約14億8500万円/1豪ドル93.9円で換算)を誇るジエベレスト(3歳上、芝1200m)が、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で10月15日に行われ、C.ウィリアムズ騎手を背に後方でレースを進めたギガキック(騾3歳、父シザーキック、C.ダグラス厩舎)が差し切り勝ちを収めました。ギガキックはこれで今年2月のデビュー戦から5連勝。G 3ヴェインSとG 2デインヒルS(ともに芝1100m)を連勝して臨んでいました。